

2006. 6. 第15号



地域づくりコミュニケーション  
— 農村振興局メールマガジン —

農林水産省農村振興局



【 農村振興支援情報 】

◆◆ 目 次 ◆◆

■ 美しい農村を守っていくために

◇農村景観・自然環境保全再生パイロット事業（その3）  
～対象団体の公募について～

◇農地・水・環境保全向上対策について  
～モデル地区サミット等開催状況と今後の予定～

◇平成18年度「田園自然再生活動コンクール」の開催

■ 地域の実態に応じた多様な取組

◇構造改革特区、元気な地域づくり交付金を活用した砂丘地農業の再生  
～南さつま市の取組～

■ お知らせ・報告

◇「景観の日」全国大会の開催報告

◇「ニッポン全国“田舎”フェア」の開催

\*\*\*\*\*

■ 美しい農村を守っていくために

◇農村景観・自然環境保全再生パイロット事業（その3）  
～対象団体の公募について～

前回のメールマガジンでもお知らせしましたが、本事業は、農村の良好な景観形成や豊かな自然環境の保全・再生を推進するため、公募方式により活動主体となるNPO等の活動団体を広く募集し、農村における景観保全活動や自然再生活動に対して直接支援する事業です。

本事業については、以下の日程で既に今年度の事業実施主体の公募が始まっています。応募申請書については、社団法人農村環境整備センターを經由して地方農政局長（北海道は農林水産省農村振興局長、沖縄県は内閣府沖縄総合事務局長）宛に提出することとなります。奮ってご応募ください。

〔公募の期間〕

平成18年6月16日（金）～平成18年7月13日（木）

※ 本事業の詳細については、「農村景観・自然環境保全再生パイロット事業公募要領」及び「農村景観・自然環境保全再生パイロット事業公募細則」をご覧ください。農林水産省のホームページからダウンロードできます。

[http://www.maff.go.jp/nouson/hozen\\_saisei/index.html](http://www.maff.go.jp/nouson/hozen_saisei/index.html)

※ 社団法人農村環境整備センターについては、以下のホームページをご覧ください。 <http://www.acres.or.jp/>

\*\*\*\*\*

#### ◇農地・水・環境保全向上対策について

～モデル地区サミット等開催状況と今後の予定～

6月12日（月）、農林水産省では平成18年度の農地・水・環境保全向上対策モデル地区サミット等開催状況及び今後の予定を取りまとめた結果をプレスリリースしました。以下の農林水産省のホームページを参照ください。

[http://www.maff.go.jp/www/press/2006/20060612press\\_3.html](http://www.maff.go.jp/www/press/2006/20060612press_3.html)

農地・水・環境保全向上対策モデル地区サミットとは、平成19年度からの農地・水・環境保全向上対策の導入を見据えた事業制度の検討の基礎となるモデル支援地区の活動内容を質的に高めるとともに、国民への啓発・普及、情報発信を図るため、モデル支援地区での活動事例紹介や意見交換等を行うものです。

今回のプレスリリース資料は、5月末時点での開催状況及び今後の予定を一覧にしていますが、開催予定のサミットについては日程等が確定次第随時更新し、

それぞれの開催結果についても以下のサイトに掲載していく予定です。

[http://www.maff.go.jp/nouti\\_mizu/index.html](http://www.maff.go.jp/nouti_mizu/index.html)

\*\*\*\*\*

### ◇平成18年度「田園自然再生活動コンクール」の応募開始

～自然と共生した農村づくり～

農村地域では、農業の営みを通じて、田んぼや水路、ため池などに様々な生きものが生まれ、豊かな自然が形成されてきました。こうした生きものにぎわう「ふるさとの自然」を保全・再生し、自然と共生した魅力ある農村づくりを進めることが重要となっています。

こうした中で、農林水産省では、平成15年度から環境省等と連携し、農村地域の自然環境の保全・再生を目指して農業者、地域住民、団体などが協力して行っている「田園自然再生活動」の取組の中から、優良事例を表彰しています。

今年度も下記のとおり、地域で様々な活動を進められている皆様からの応募をお待ちしています（再度のチャレンジでも結構です）。

#### ○応募資格

農業生産との調和を図りながら、生態系の保全等、自然環境の保全・再生活動に取り組むグループ

#### ○表彰

農林水産大臣賞、農村振興局長賞、環境省自然環境局長賞、朝日新聞社賞等

#### ○応募締切

平成18年8月4日（金）

#### ○応募先

（社）農村環境整備センター

※応募様式、審査基準及びこれまでの受賞団体の概要は下記ホームページをご覧ください。

<http://www.acres.or.jp/Acres/denen/html/contest.htm>

\*\*\*\*\*

### ■ 地域の実態に応じた多様な取組

◇構造改革特区、元気な地域づくり交付金を活用した砂丘地農業の再生  
～南さつま市の取組～

日本三大砂丘の一つ、吹上浜砂丘周辺の農地では、古くから高品質な砂丘ラッキョウの生産が盛んですが、近年、生産者の高齢化等により栽培面積、生産量、売上額とも減少し、その一方で、農地の遊休化が顕著になってきています。

こうした中、平成15年8月、加世田市（現南さつま市）は、遊休農地100haを含む450haの地域について砂丘地域再生振興特区の認定を受け、遊休農地を再生後、農外法人へ貸し出しており、現在13法人が、ラッキョウを中心としてサツマイモ等の栽培に取り組んでいます。

この間、参入法人から規模拡大の希望が多く寄せられ、そのニーズに応えるため「元気な地域づくり交付金」の「遊休農地再生活用土地条件整備」を活用した遊休農地の整地、客土等を展開し、参入法人への利用集積を図ってきています。

また、担い手不足の解消のため、同交付金の「援農ボランティア活動支援」を活用した援農ボランティアの確保や生産者組織との提携体制について検討を行っています。

将来的には、観光農園の設置や市民農園の開設による都市農村交流まで幅を広げ、砂丘文化の再生と農業教育力の発揮エリアを目指して、砂丘地域の振興・活性化につなげていくこととしています。

※本地区の詳細については、以下のサイトもご覧ください。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kouzou2/sankou/030829/46.pdf>

及び

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kouzou2/kouhyou/030908/046.pdf>

（鹿児島県農村振興課寄稿）

\*\*\*\*\*

■ お知らせ・報告

◇「景観の日」全国大会の開催報告

前回のメールマガジンでもお知らせしましたが、6月1日（木）、良好な景観の形成を国民運動として展開する契機とするため、「日本の景観を良くする国民運動推進会議」の全国大会が、農林水産省、国土交通省、環境省の特別協力のもと、シェーンバッハ・サポー（砂防会館内）において開催されました。

大会には全国から約1,000人の参加がありました。農林水産省からは、金子農林水産大臣政務官が来賓として出席し「農山漁村の景観は、日々の生活や農林漁業の営みの積み重ねにより築きあげてきたものであり、美しい景観を守っていくためには、地域で景観に対する意識を深め、共有し、美しい景観づくりに向けた具体的な取組につなげていくことが大切」と挨拶されました。

大会の主な内容は、以下のとおりです。

(1) 表彰授与

- ・都市景観大賞「美しいまちなみ賞」〈国土交通省〉
- ・美の里づくりコンクール〈農林水産省〉
- ・自然公園写真コンクール〈環境省〉

(2) 基調講演「「美しい景観」から「いい風景」へ」

進士 五十八（東京農業大学教授／日本学術会議会員）

(3) パネルディスカッション「魅力あるふるさとづくり」

〈パネリスト〉

- ・大原謙一郎（（財）大原美術館理事長／倉敷商工会議所会頭）
- ・川端五兵衛（近江八幡市長）
- ・セーラ・マリ・カミングス（（株）榎一市村酒造場取締役）
- ・浜美枝（女優、農政ジャーナリスト）

〈コーディネーター〉

- ・西村幸夫（東京大学教授）

「第1回美の里づくりコンクール」においては、農林水産大臣賞「石畳を思う会 石畳自治会（愛媛県内子町）」のほか、農村振興局長賞2件、美の里づくり審査会特別賞3件が表彰されました。

\*\*\*\*\*

◇「ニッポン全国“田舎”フェア」の開催

都市生活者と田舎の出会いの場「ニッポン全国“田舎”フェア」を関東・中京・近畿の三大都市圏で開催します。その皮切りとして行われる「名古屋会場」には岐阜・愛知・三重・福井・長野・京都・長崎から12団体が集まり、グリーン・ツーリズム（田舎で遊ぶ・泊まる・暮らす）など地域の新鮮な情報の提供や地域製品の紹介などを行います。

皆様のご来場をお待ちしています！

○開催日等

7月8日（土）～9日（日）

名古屋市中区金山1-17-1 アスナル金山「明日なる！広場」

○詳しくはこちらから

名古屋会場のご案内 <http://www.kouryu.or.jp/inaka/h18/nagoya.pdf>

○今後の予定

（近畿）10月28日（土）～29日（日）

神戸市東灘区向洋町中5-15 リバーモール公園

（関東）11月、2月

場所等については、現在調整中

\*\*\*\*\*

◆◇ 編集後記 ◇◆

ここ関東地方の梅雨も折り返しに入りましたが、今年は5月から天候不順が続いているためか、梅雨が長くうっとうしく感じられます。早々の梅雨明けを祈るところです。

さて、7月に入ると全国各地で夏まつりやイベントが開催されます。最近は、地域の取組も創意工夫され、独自性のある面白いイベントも多くなってきました。地域の人とふれあえる催しを探して、家族と旅行してみるのもいいかも知れませんか。その頃にはきっと夏の太陽が元気に迎えてくれることでしょう。

（S）

\*\*\*\*\*

◆◇ ご意見をお寄せ下さい ◇◆

本メールマガジンに対する皆様の声をご遠慮なくお寄せください。また、皆様の地域での活動や取組の紹介などもお願いします。皆様からのご質問・ご意見、地域の活動などの情報につきましては、可能なかぎり回答あるいは紹介させていただきます。

また、読者の輪を更に広げていきたいと考えていますので、皆様において本メールマガジンに関心を持っていただけそうな方をご存じでしたら、どしどしご紹介いただきますようお願いいたします。

\*\*\*\*\*

■ 編集発行

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局企画部農村政策課(担当)佐藤

TEL:03-3502-5946 FAX:03-3595-6340 E-mail:[mailto:nouson\\_nm@nm.maff.go.jp](mailto:nouson_nm@nm.maff.go.jp)

\*\*\*\*\*